

第 2 期 決 算 公 告

平成 29 年 6 月 20 日

群馬県太田市世良田町 3 0 3 8 番地 2

サンノバ株式会社

代表取締役社長 竹 川 徹

損益計算書の要旨

自 平成 28 年 4 月 1 日から

至 平成 29 年 3 月 31 日まで

貸借対照表の要旨（平成 29 年 3 月 31 日現在）

（単位：百万円）

（単位：百万円）

科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	6,997	流動負債	2,257
固定資産	5,294	（賞与引当金	240）
有形固定資産	5,051	固定負債	898
無形固定資産	102	（退職給付引当金	835）
投資その他の資産	140	負債 合計	3,155
		株主資本	9,130
		資本金	300
		資本剰余金	8,592
		その他資本剰余金	8,592
		利益剰余金	238
		利益準備金	8
		その他利益剰余金	229
		繰越利益剰余金	229
		評価・換算差額等	4
		純資産 合計	9,135
資産 合計	12,291	負債・純資産 合計	12,291

科 目	金 額
売上高	7,296
売上原価	6,412
売上総利益	884
販売費及び一般管理費	371
営業利益	513
営業外損益	1
経常利益	514
特別損益	0
税引前当期純利益	513
法人税、住民税及び事業税	212
法人税等調整額	△ 47
当期純利益	349

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの・・・期末日の市場価格等に基づく時価法

（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

時価のないもの・・・移動平均法による原価法

2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

製品・仕掛品・原材料・・・総平均法による原価法

（貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

3. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物・・・3～36年

機械装置・・・・・・・・・・2～7年

器具備品・・・・・・・・・・2～20年

(2) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 無形固定資産（リース資産を除く）

自社利用のソフトウェア

社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

4. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員に支給する賞与に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当期までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。

② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生年度において全額を費用処理しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。